

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製 品 名 : モノタロウ ラバー劣化防止スプレー NET 300ml

会社名 株式会社MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
FAX番号 0120-289-888
緊急連絡先 所在地と同じ

作 成 日 : 平成25年05月30日

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性／引火性エアゾール	区分 1
引火性液体	区分外

健康に対する有害性

急性毒性（吸入：気体）	区分外
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 2
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	区分 3（麻酔作用）
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	区分外

※上記に記載が無い危険有害性は、分類対象外か分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

ラベル表示物質：なし

危険有害性情報

- ・極めて可燃性／引火性の高いエアゾール
- ・強い眼刺激
- ・眠気またはめまいのおそれ

3. 組成、成分情報

物質の特定 単一製品・混合物の区別：混合物（エアゾール製品）

成分情報及び含有量：

化 学 名		化学式 又は構造式	官報公示整理 番号 化審法	CAS No.	安衛法通知 対象物質	PRTR法 報告物質	含有量 (質量%)
内容液	潤滑油基油 (合成油)	—	—	—	対象外	対象外	50～60
	潤滑油添加剤	—	—	—	対象外	対象外	3以下
噴射剤	プロパン	C ₃ H ₈	対象外	74-98-6	対象外	対象外	5～15
	ブタン	C ₄ H ₁₀	対象外	75-28-5、106-97-8	該当	対象外	30～40

4. 応急処置

吸入した場合：新鮮な空気の場所に移す。身体を毛布などで覆い、保温して安静に保ち、必要なら医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：水と石けんで付着した部分を洗う。

目に入った場合：清浄な水で最低15分間目を洗浄したのち、医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合：無理に吐かせないで、直ちに医師の手当てを受ける。口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗う。

5. 火災時の措置

消 火 剤：粉末 炭酸ガス 泡 砂

特定の危険有害性：火災の現場にエアゾール容器があると破裂する恐れがある。

消 火 方 法：消火活動には距離を十分にとること。

初期の火災には、粉末 炭酸ガス 泡 砂等の消火剤を用いる。

棒状水の使用は、火災を拡大して危険な場合がある。

大規模火災には泡消火剤を用いて空気を遮断する。

高温にさらされる製品容器に水をかけて冷却する。

消火を行う者の保護：消火作業は、自呼吸式呼吸器等の保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：風下の人を避難させ、漏出した場所の周囲に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)着用し、皮膚への付着や、蒸気の吸入に注意する。

環境に対する注意事項：付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

除 去 方 法：着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

衝撃、静電気にて、火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

漏れ発生時(噴出時)には風上より処置を行うようにし、容器の露出部は上向きにし、完全にガスを噴出してから処置をする。

付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。

少量の場合：乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて、密閉できる容器に回収する。

大量の場合：盛土で囲い流出を防止し、安全な場所に導いてから回収する。この際、下水、側溝等に入り込まないように注意する。漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。

7. 取扱い及び保管上の注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため下記の注意を守ること。

取 扱 い：火気と高温に注意。

炎や火気の近くで使用しないこと。

火気を使用している室内で大量に使用しないこと。

火の中に入れないこと。

取り扱い換気のよい場所で行うこと。

通風をよくし、蒸気が滞留しないようにする。

密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具をつけて作業すること。

保管：高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や、火気等の近くなど温度が40℃以上となるとところに置かないこと。
子供の手の届かないところに保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

成 分		管理濃度 (ppm)	許 容 濃 度 (ppm)	
			日本産業衛生学会	ACGIH(TLV-TWA)
内 容 液		未設定	未設定	未設定
噴射剤	プロパン	未設定	1000	1800 (mg/m ³)
	ブタン	未設定	1000	1800 (mg/m ³)

設備対策：屋内作業場での使用の場合は、発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。

取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保 護 具

呼吸器の保護具：必要に応じて防毒マスク（有機ガス用）

眼の保護具：ゴーグル型保護眼鏡、防災面

手の保護具：溶剤用手袋など不浸透性のもの

皮膚及び身体の保護具：必要に応じて保護前掛け、保護長靴などを使用する。半袖の作業着は避ける。

9. 物理的及び化学的性質

内 容 液

外 観：微褐色液体

臭 い：臭気あり

引 火 点：250℃以上 (COC)

爆発限界：下限：1vol% 上限：7vol%（推定値）

密 度：約1.00g/cm³（15℃）

溶 解 性：水に対する溶解性：不溶

噴 射 剤

	プロパン	ブタン
外 観：	無色気体	無色気体
密 度：	0.501	0.557～0.579
蒸 気 比 重：	1.60	2.00～2.10
蒸 気 圧：	0.744MPa (20℃)	0.107～0.202MPa (20℃)
沸 点：	-42℃	-0.5～-12℃
融 点：	-187.69℃	-138.3～-159.4℃
引 火 点：	-104℃	-60～-81℃
発 火 点：	450℃	365～460℃
爆 発 限 界：	2.1～9.5vol%	1.8～8.4vol%
溶 解 性：	水に不溶	水に不溶

10. 危険性情報（安定性・反応性）

内 容 液

安定性：通常の条件では安定。

反応性：強酸化剤との接触を避ける。

避けるべき条件：ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないよう注意する。

避けるべき材料：現在のところ有用な情報なし。

危険有害な分解生成物：燃焼の際は一酸化炭素等が発生する可能性がある。

噴 射 剤

通常の取扱いにおいては安定である。

1 1. 有害性情報

内 容 液

急性毒性：経口 ラット LD₅₀：5g/kg以上

皮膚腐食性・刺激性：現在のところ有用な情報なし。

眼に対する重篤な損傷・刺激性：眼刺激がある。

感作性：現在のところ有用な情報なし。

生殖細胞変異原性：現在のところ有用な情報なし。

発がん性：基油：IARCやNTPには収録されていない。

添加剤：現在のところ有用な情報なし。

生殖毒性：現在のところ有用な情報なし。

特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）：現在のところ有用な情報なし。

特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）：現在のところ有用な情報なし。

吸引性呼吸器有害性：現在のところ有用な情報なし。

噴 射 剤

（プロパン）

急性毒性：10,000ppm／短期暴露何ら症状もなし。

100,000ppm／短期暴露数分吸入後にめまい。

刺激性：皮膚 長時間触れると炎症、湿疹を起こす。

目 粘膜等を刺激する。

その他：若干の麻酔性有り

（ブタン）

急性毒性：吸入 マウス LC₅₀ 680mg/l (約26%) 2時間

ラット LC₅₀ 658mg/l (約26%) 4時間

刺激性：皮膚 長時間触れると炎症、湿疹を起こす。

目 粘膜等を刺激する。

その他：若干の麻酔性有り

(注)LD₅₀：半数致死量 (mg/kg) LC₅₀：半数致死濃度 (ppm)

1 2. 環境影響情報

生態毒性：現在のところ有用な情報なし。

残留性・分解性：現在のところ有用な情報なし。

生態蓄積性：現在のところ有用な情報なし。

土壌中の移動性：現在のところ有用な情報なし。

1 3. 廃棄上の注意

- ・必ず中身を使い切り、中身がないことを確認して廃棄する。

- ・廃棄は、各自治体の指示に従って行う。
-

1 4. 輸送上の注意

国 連 分 類：(クラス 2. 1) 高圧ガス

国 連 番 号：1 9 5 0

注 意 事 項：取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。

容器からの漏れがないことを確認し、運搬中荷崩れで転倒、落下による容器の損傷が起らないように十分な手段を講じる。

陸 上 輸 送：消防法、労働安全衛生法、他法令の輸送について定めるところに従う。

海 上 輸 送：船舶安全法に定めるところに従う。

航 空 輸 送：航空法に定めるところに従う。

1 5. 適用法令

高圧ガス保安法：適用除外 (液化ガス 可燃性ガス)

消 防 法：指定可燃物 (可燃性液体類)

労働安全衛生法：別表第 1 危険物 5. 可燃性のガス

通知対象物質 ブタン

表示対象物質 該当せず

P R T R 法：該当せず

船 舶 安 全 法：危険物 (高圧ガス)

航 空 法：高圧ガス

1 6. その他の情報

記載内容の取り扱い：

- ・ここに記載された情報は現時点で正確な物と考えられますが、危険・有害性の評価は必ずしも完全な物ではなく、新知見によって変わることがあります。

また、需要家の皆様の使用条件は弊社の管理外の事項となりますので、取り扱いには十分注意して下さい。

引 用 文 献：

- ・製品安全データシートの作成指針 日本化学工業協会
- ・化学物質等法規制便覧 化学工業日報社

その他として、各原料メーカーのMSDSに準拠する。